

技術支援

林業技術センターでは、技術相談にお応えするとともに、次のような有料の技術支援メニューがあります。

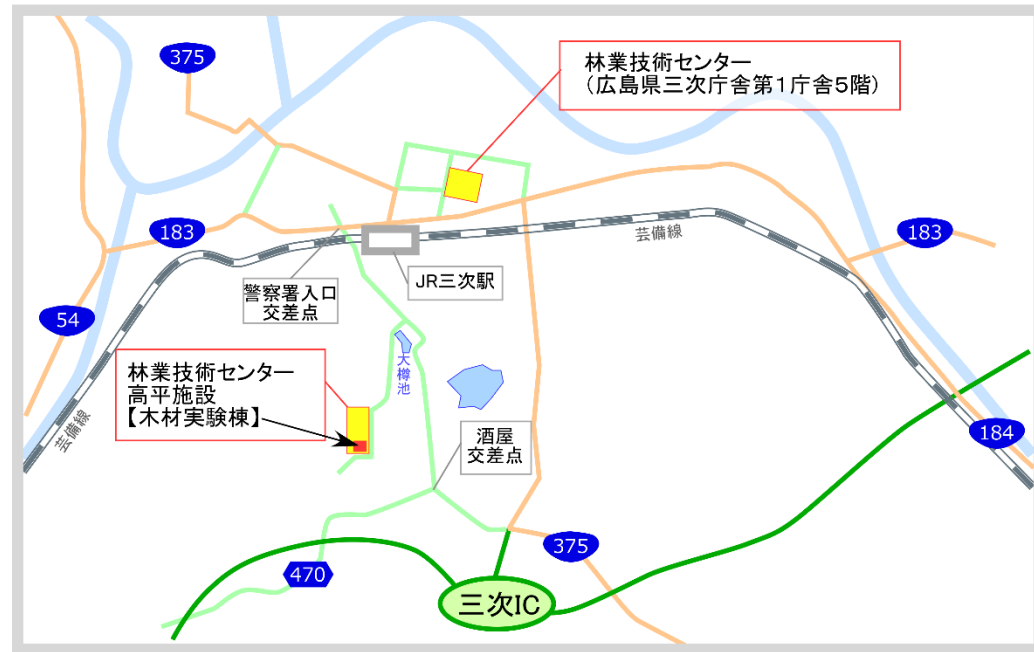
- ① 技術的課題解決支援事業（ギカジ）
技術的課題の解決支援依頼に対して、その解決に向けて検討することを請け負うとともに、技術指導と併せて検討結果等を記載した技術支援レポートを交付します。
- ② 現地指導
研究員が現地に行き、技術指導を行います。
- ③ 受託研究
企業・団体等からの受託により研究開発・試験を行います。
- ④ 依頼試験
設備・機器を使った試験を研究員が実施します（項目ごとの手数料金表あり）。
- ⑤ 設備利用
木材実験棟の設備・機器の利用を受け付けます（項目ごとの使用料金表あり）。

技術支援に関するお問い合わせは、お気軽に技術支援部にご連絡ください。

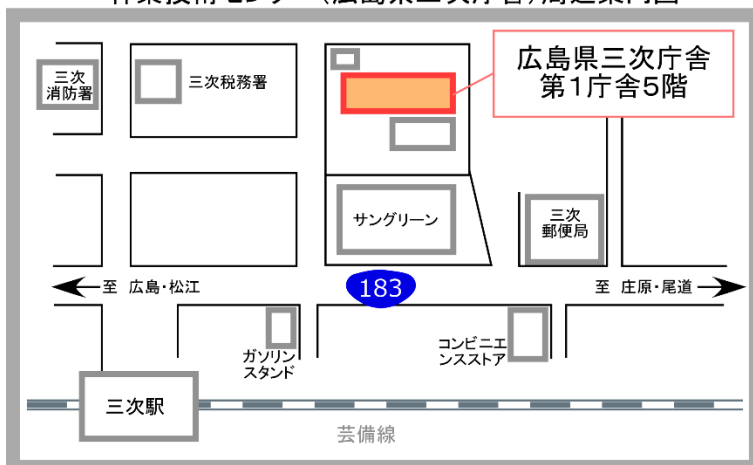
専用直通電話：0824-63-0897 Eメール：rgcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

アクセス

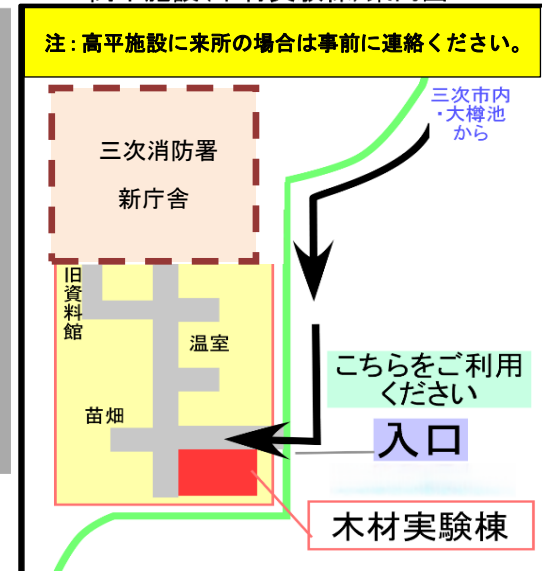
三次市広域案内図(林業技術センター、高平施設)



林業技術センター(広島県三次庁舎)周辺案内図

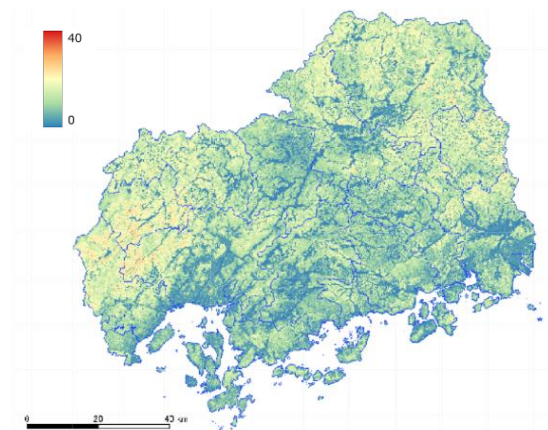
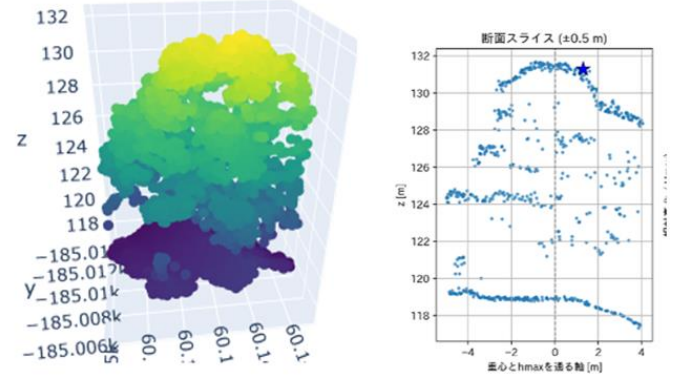


高平施設(木材実験棟)案内図



林業技術センター
〒728-0013 三次市十日市東4丁目6-1
電話 (0824) 63-5181 (代表)
(0824) 63-0897 (技術相談専用)
FAX (0824) 63-7103

令和8（2026）年度 林業技術センター要覧



HiTRU 広島県立総合技術研究所
Hiroshima Prefectural Technology Research Institute

林業技術センター
Forestry Research Center

ホームページ URL : <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/>

【表紙の写真の説明】

上段左：木材実験棟

上段右：広葉樹のレーザー反射と断面スライス図

下段左：樹高図（森林管理基盤情報）

下段右：不定胚から再生させたヒノキの幼植物体

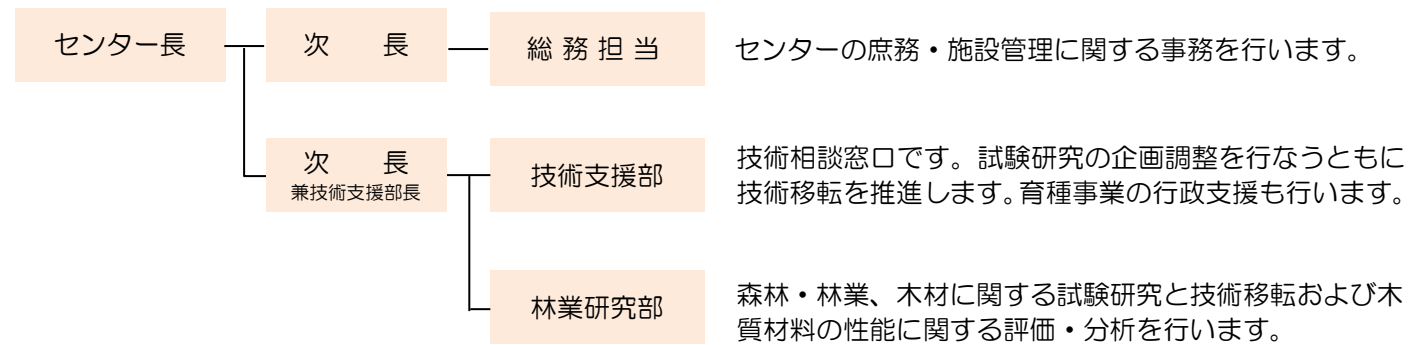
業務の基本方針

林業技術センターでは、令和8年度施行予定の「総合技術研究所中期事業計画（第3期）」（令和8～12年度）に基づき、県内の中小企業や農林水産業者（以下「事業者等」という。）のニーズに基づく支援を継続するとともに、デジタル技術などの進展に対応するため、次の事項に重点的に取り組みます。

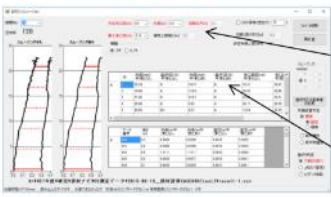
- (1) ニーズ起点による技術支援の推進
 - 事業局が発信する課題の解決に注力するとともに、より広く顧客の声を集めてニーズを把握・分析し、施策実現や課題解決に必要な技術開発の提案や技術支援に取組みます。
- (2) デジタル技術等への更なる取組による技術支援機能強化
 - 総研が保有するデジタル技術の応用とAI等最新技術を活用することで、多様な課題に対応したデジタル技術を開発します。
- (3) 支援効果向上のための技術基盤強化
 - 社会情勢の変化等に対応して効果的な技術支援を行うため、将来の支援に繋がる研究開発を推進します。

また、農林水産局の「広島県農林水産業アクションプログラム」の取組と連携し、施策実現に必要な技術開発の提案や県内の林業・林産業界の抱える課題の解決に向け技術支援を強化します。

組織と業務内容



知的財産

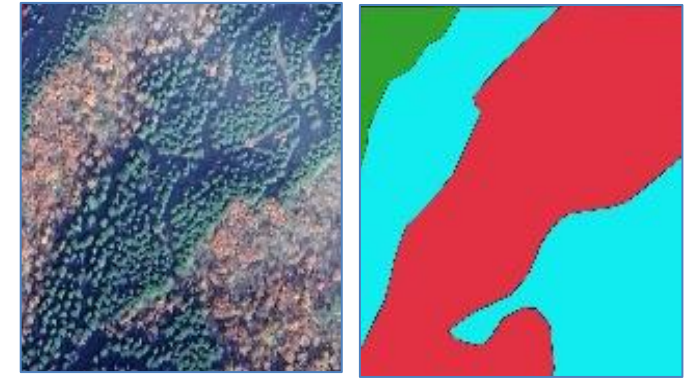
特許名称	内容
採材支援装置および制御プログラム (特許第6317052号)	立木の幹の形状を示す情報を用いて適切な採材位置を計算し、丸太の曲がり区分ごとの材積や金額を算出できます。 
公開情報	内容
森林管理基盤情報	航空レーザー測量成果（国土交通省中国地方整備局（2009）、広島県砂防課（2014～2017）、林野庁治山課（2018））を用いて作成した「標高図」、「CS立体図」、「傾斜図」、「樹高図」、「レーザー点群密度図」、「計測年度図」の6図を森林管理基盤情報として【DobboX】に公開しています。

主な試験研究の内容

【課題解決研究】

「3Dリモートセンシングによる里山林の管理と活用」
(令和8～10年度)

里山にある手入れ不足人工林や、ナラ枯れ等の被害が拡大している雑木林の効率的な管理と広葉樹材の利用促進に向けて、里山林の状況を把握する技術の開発を行います。これにより、里山を取り巻く多くの関係者が里山管理に使えるデジタル情報基盤等の整備を目指します。



森林タイプ分類イメージ図

森林タイプ分類
 ■ 常緑広葉樹林型(代表種:アラカシ)
 ■ 落葉広葉樹林型(代表種:コナラ)
 ■ 針葉樹林型(スギ)

【DX事業研究】

「苗木生産現場におけるセンサーベースの自動灌水技術の開発」(令和8～12年度)

コンテナ苗木の育成では、灌水管理が技術的な課題となっています。そこで、省力化と得苗率向上を目指した灌水装置の開発を進めます。

【基盤研究センター長枠・受託・共同研究】

基盤研究のセンター長枠では主にコウヨウザンの植栽試験地等の継続した調査や、将来の技術支援に向けた基礎的な試験などを実施しています。

受託・共同研究としては、大学や国の研究機関との連携を進めるほか、団体や企業の依頼を受けた研究を実施しています。



コウヨウザン試験地

行政支援業務

【苗木生産体制整備事業】

スギ・ヒノキの少花粉品種や特定母樹、マツノザイセンチュウ抵抗性マツ及びコウヨウザンなどの優良種子の生産と普及を図ります。

行政普及研究連携

県の林務行政や普及の課題を解決するための取組を、研究と技術支援の両面から関係する部署と連携して進めています。